



# 兵庫のビジョン

兵庫県企画県民部ビジョン局ビジョン課

# I. 2 1世紀兵庫長期ビジョン

# 21世紀兵庫長期ビジョンとは？

- 県政の指針、「総合計画」にあたるもの
- 21世紀初頭の兵庫のめざすべき社会像とその実現方向を示す
- 展望年次（将来を考えるため見通しておく時期）・・・2040年頃
- 平成13年2月策定（平成23年12月改訂）
- 圏域ごとの「地域ビジョン」と「全県ビジョン」から構成

## 21世紀兵庫長期ビジョンの構成

### 地域ビジョン

地域の将来像

A light blue map of Hyogo Prefecture is shown within a rounded rectangular box. The map highlights the regional vision area.

共有

### 全県ビジョン

(4つの社会像)  
創造的市民社会  
しごと活性社会  
環境優先社会  
多彩な交流社会

# 県民全員で描く未来の姿

## 県民主役・地域主導

県民自らが地域の「夢」を描くことを期待

「計画」ではなく  
「ビジョン」

事業量を数値で示す「計画」ではなく、皆で共有できる未来像

## 21世紀兵庫長期 ビジョンの特徴

## 参画と協働

多様な主体が、自らの責任のもとに県や地域に「参画」し、対等なパートナーシップで「協働」

「プロセス重視」

「つくって終わり」ではなく、進み具合を皆で点検・評価  
「成長し続けるビジョン」

# ビジョンの構成要素-12の将来像

ビジョンで掲げる  
社会像

## 将来像（実現したい兵庫の姿）

### 創造的市民社会



- 1 人と人のつながりで自立と安心を育む
- 2 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する
- 3 次代を支え挑戦する人を創る

### しごとと活性社会



- 4 未来を拓く産業の力を高める
- 5 地域と共に持続する産業を育む
- 6 生きがいにあふれたしごとを創る

### 環境優先社会



- 7 人と自然が共生する地域を創る
- 8 低炭素で資源を生かす先進地を創る
- 9 災害に強い安全安心な基盤を整える

### 多彩な交流社会



- 10 地域の交流・持続を支える基盤を整える
- 11 個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す
- 12 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ

# 2040年にめざす兵庫の姿

## 創造と共生の舞台・兵庫

創造：課題に挑戦し、新しい世界を拓く

共生：県民が力を合わせ、絆をつくり、連携する

「兵庫」という舞台で、  
一人ひとりの県民が主役となり、

「ビジョン」という脚本のもとに

未来を創る！

# ビジョンの点検・評価

## 全県ビジョン指標

■行政(県)、住民、団体など様々な主体の取り組みの点検・評価

### 全県ビジョンフォローアップ指標

- 行政(県)、住民、団体など様々な主体による個々の取組の成果を定量的に測る指標
- ビジョン実現に向け、県の取組を表す指標

分析  
・補完

### 兵庫のゆたかさ指標

- 県民意識調査の結果から、県民一人ひとりの「ゆたかさ感」を捉える指標
- 将来像ごとの平均点を算出し、県民の総体的な「ゆたかさ感」を把握

連携・共有

## 地域ビジョン指標

■個性豊かな地域ビジョンの実現状況の点検・評価

- ・各地域ビジョンの達成度を測るフォローアップ指標
- ・地域ならではの魅力や活動成果を共有(地域資源の数え上げなど)

## **Ⅱ. 兵庫2030年の展望（仮称）**



# 兵庫2030年の展望（仮称）素案

## I 策定趣旨

### ■ 長期にわたる人口減少

- 人口減少は今後数十年にわたって継続
- 暮らしや地域・産業構造が大きく変容しうる時代を前に、将来の不透明感が拡大

### ■ 未来を拓く展望の共有

- 不透明感が広がる今こそ、未来を拓く展望を広く共有することが重要
- 75歳以上の高齢者がピークに達するなど、社会が大きく変化していく2030年頃を見通し、「兵庫2030年の展望(仮称)」として取りまとめ

### ■ 長期ビジョンと地域創生戦略をつなぐ

- 2040年を目標年次とする「21世紀兵庫長期ビジョン」と2020年を目標年次とする「兵庫県地域創生戦略」をつなぐ役割

# Ⅱ 2030年に向けた環境変化

## 1 進行する人口減少と少子高齢化

### ■ 人口減少・少子高齢化の進行

総人口	2015年 <b>553</b> 万人	➔	2030年 <b>527</b> 万人 (▲26万人)
年少人口(0~14歳)	<b>71</b> 万人	➔	<b>66</b> 万人
生産年齢人口(15~64歳)	<b>328</b> 万人	➔	<b>302</b> 万人
拡大生産年齢人口(15~74歳)	<b>413</b> 万人	➔	<b>363</b> 万人
後期高齢者人口(75歳以上)	<b>69</b> 万人	➔	<b>98</b> 万人

※2030年人口は、地域創生戦略に基づく自然増・社会増対策後の人口(2060年 450万人)をベース



まちの子育てひろば

### ■ 都市部でも人口減少局面へ移行

2025年頃 東灘区 西宮市      2030年頃 灘区

### ■ 人口の偏在化

神戸・阪神南・阪神北・東播磨・中播磨  
北播磨・西播磨・但馬・丹波・淡路

2015年-2030年  
▲**3.3%**  
▲**11.5%**

### ■ 介護需要の増加

	2015年	➔	2030年
要介護等認定者数(県)	<b>29</b> 万人	➔	<b>41</b> 万人

### ■ 健康寿命の延伸

	2015年	➔	2030年
男	<b>79.6</b> 歳	➔	<b>82.9</b> 歳
女	<b>84.0</b> 歳	➔	<b>85.6</b> 歳



認知症予防

## 2 浸透する革新技术

### ■ 革新技术の浸透 (AI・IoT・ロボット)

暮らし	○モバイル決済、デジタル通貨 ○AI家電、自動翻訳	○シェアリングエコノミー (特技や遊休資産の活用拡大)
移動	○自動運転 ○コネクティッドカー	○ドローン配送 ○トラックの隊列走行
健康	○遠隔診療 ○先制医療、個別化医療	○介護ロボット ○AIを用いた診断支援
産業	○省人化・無人化工場 ○消費者データによる需要予測	○スマート農業 ○バックオフィス業務の自動化

### ■ 次世代産業の成長

区分	航空機産業	ロボット	水素エネルギー
2015年	1.8兆円	1.6兆円	-
2030年	3兆円	7兆円	1兆円



自動運転バス



テレワークで働く社員

## 3 多様化する働き方

### ■ 働き方の多様化

- ・ICTを活用したテレワーク（サテライトオフィス、在宅勤務等）が広く普及
- ・兼業・副業を認める企業が拡大
- ・ライフスタイルにあわせて働くフリーランスが増加
- ・事業立ち上げコストの低下等により起業が増加

### ■ ワーク・ライフ・バランスの進展

企業名	取組内容
川崎重工業	全社員の半数を超す約9000人が利用可能な在宅勤務制度を2018年1月に導入
モロゾフ	ショートタイム社員制度を設け、生活にあった働き方を実現
三ツ星ベルト	小学生以下の子どもをもつ共働き世帯等が利用できる最大12日間の「お星さま休暇」を創設

# 4 到来する大交流時代

## ■ 世界の海外旅行者数の増加

区分	2010年	2020年	2030年	2030/ 2010年
世界	9.4億人	13.6億人	18.1億人	193%
アジア 太平洋 (世界シェア)	2.0億人 (21%)	3.6億人 (26%)	5.4億人 (30%)	270%

■ 外国人旅行者 (県内) 2015年 128万人 → 2030年 370万人

## ■ 巨大なアジア中間層マーケットの出現

アジア新興国における消費支出4\$/人・日以上  
の人口 2014年 19億人 → 2030年 34億人

## ■ 都市農村の対流の拡大

都市住民の農村定住願望 2005年 30代 17% → 2014年 33%  
40代 16% → 35%



多自然地域への移住



神戸港に入港する外国クルーズ客船 (神戸市客船誘致協議会 提供)

## ■ 陸海空の交通インフラの充実

区分	内容
道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国横断自動車道姫路鳥取線(2020年度完成)</li> <li>大阪湾岸道路西伸部[六甲アイランド北~駒栄]、名神湾岸連絡線、山陰近畿自動車道浜坂道路Ⅱ期、北近畿豊岡自動車道[日高神鍋高原~豊岡]、東播磨道(2030年頃までの完成)</li> <li>山陰近畿自動車道[全線]、北近畿豊岡自動車道[全線]、神戸西バイパス、播磨臨海地域道路(早期完成に向けた整備推進)</li> </ul>
空港	関西3空港の一体運営、伊丹・神戸の国際化の推進
港湾	神戸港の国際戦略港湾としての競争力強化に向けた基盤整備
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニア中央新幹線 名古屋-大阪間(2037年頃開業想定)(8年間前倒しの場合)</li> <li>北陸新幹線 敦賀-大阪間(リニアとの同時開業に向け努力)</li> </ul>

## ■ 情報交流の拡大

SNS利用者数 2005年 111万人 → 2017年 7,216万人

IoTデバイス数(世界) 2017年 270億個 → 2030年 1,250億個  
〔ネットワーク接続機器数〕

# 5 多発する自然災害と高まる環境制約

## ■ 南海トラフ地震

【南海トラフ地震の発生の可能性】

- ・地震の規模 M8～9クラス
- ・発生確率 30年以内に70%～80%

## ■ 多発する豪雨

1時間に80mm以上の降水発生回数(全国・年平均)

1976～1985年

10.7回

2006～2015年

18.0回



丹波豪雨による被害

出典 国土地理院境ホームページ



液化水素運搬船

## ■ パリ協定の発効

- ・温暖化対策の国際的な枠組みであるパリ協定のもと、温室効果ガスの排出量を2030年度までに26.5%削減

温室効果ガス排出量  
(県)

2013年

75,182kt-co2

2030年

55,248kt-co2  
(△26.5%)

## ■ 水素社会の到来

【2030年頃の普及イメージ】(国ロードマップ)

- ・発電事業用水素発電の本格導入、パイプラインによる水素輸送
- ・海外からの未利用エネ由来水素の製造、輸送・貯蔵の本格化

## Ⅲ 基本方針

### 1 「暮らしの質」の追求

[キーワード] 健康寿命、介護基盤、ワーク・ライフ・バランス、環境、楽農生活、防災力 等

### 2 「未来の活力」への投資

[キーワード] 子育て環境、人づくり、起業、イノベーション、科学技術 等

### 3 「ダイナミックな交流・環流」の拡大

[キーワード] 観光交流、二地域居住、交通インフラ、アジア等との経済交流 等

## Ⅳ 兵庫の2030年の姿

**1** 人と技術の共進化が生む経済活力

**2** 誰もが活躍できる働き方

**3** 充実する「自分時間」

**4** 安心の出産・子育て

**5** 健康長寿な暮らし

**6** 高まる防災力と復元力

**7** 環境先進地

**8** 未来に挑戦する人づくり

**9** 御食国ひょうご

**10** 交流で賑わう五国

# 今後のスケジュール

- 5月下旬 長期ビジョン審議会
- 7月12日 県政150周年記念式典（展望案発表）
- 7月中旬～ パブリックコメント
- 8月上旬 長期ビジョン審議会
- 9月下旬 県議会上程・議決を経て策定

「兵庫2030年の展望」についてのご意見、ご提案を  
県庁ビジョン課までお送りください。

（FAX番号：078-362-3950 メールアドレス：[vision@pref.hyogo.lg.jp](mailto:vision@pref.hyogo.lg.jp)）

# みなさんに期待すること

## 地域づくりの輪の拡大

ビジョン委員会  
全体での取組

地域の他の団体との  
連携

地域の若い世代の  
参加促進

## ビジョンの普及・啓発

一人ひとりが広告塔

地域夢会議や広報媒体の  
活用によるビジョンPR

指標を通じたビジョンの  
フォローアップ